

ロゴ入りシャツで阿蘇の知名度をアップ!



6月22日、一の宮町商工会青年部が「阿蘇人(あそんもん)」と書かれたTシャツとポロシャツの作製披露を市役所で行いました。

これは、同会青年部がまちの活性化事業として行った取り組みで、イベントや祭りのたびにこのTシャツ等を着て、阿蘇の知名度を上げると共に、阿蘇に住んでいることへの誇りを再認識しようというもので、販売利益の一部は、地域振興や防犯活動に活用されます。

販売は仲町通り商店街の「旧緒方屋」で行っており、購入に際しては、阿蘇市の地域通貨も200グラス使用できます。

詳細は、一の宮町商工会 (TEL 22-0789) までお問い合わせください。



▲ロゴには宮本副部長が書いた文字を起用。色は黒、白、紺、赤、橙の5色で、サイズはS~XLの4サイズ。



ASOクリーン作戦へのご協力ありがとうございました!

6月23日、波野の国道57号沿いでASOクリーン作戦が行われ、阿蘇市内の公共団体、企業、民間団体など32団体から580人が参加し、ゴミ拾いに汗を流しました。

環境省が提唱する6月の「環境月間」に合わせて市が実施したもので、当日は濃霧という悪天候にもかかわらず、皆様のご協力により750kgものゴミが集められました。参加者の皆さん、ご苦労さまでした。

なお、来年もクリーン作戦を予定していますので、ご協力をお願いします。



▲神楽苑で行われた開会式の様子

お年寄りが中学生に「もったいない」の話

7月3日、波野中学校で、「物を大切にできる気持ち」を見直すことを目的とした講話が行われました。

これは、同中学校が取り組んでいる学校版環境ISO (もったいない運動) の一環で、昨年度から行われていています。今回は、楢木野元一さん(大道)、阿南重継さん(笹倉)、西村正子さん(楢木野)の3人が、各学年の教室で講話を行いました。

3年生の教室では、西村さんが「もったいないという気持ちには、単に物をもったいないと思う気持ちだけでなく、物に対して感謝や愛情の気持ちを持つことが大切です」などと生徒たちに語りました。



豪雨で被害にあった美里町に物資支援

7月6日の豪雨で道路や家屋に大きな被害を受けた下益城郡美里町に、7月13日、阿蘇市は、支援物資 (200mlパック牛乳1,200個) を届けました。

佐藤市長らは、砥用庁舎を訪れ、家を失うなどして避難所生活が続く美里町の人たちを励し、一日も早い復旧を願いました。

義援金の受付は阿蘇市社会福祉協議会で行っております。お問い合わせは TEL 32-1127 までお願いします。



▲支援物資の目録を手渡す佐藤市長と長嶺興也美里町長